

シルバー くき

Silver Kuki

- 60歳からの ENJOY・Life -

2020

第10号

埼玉県シルバー人材センター連合マスコット



シルバー人材センター基本理念

- | | |
|----|--------------------|
| 自主 | センターを私たちのものとして考えます |
| 自立 | センターを私たちの力で育てます |
| 共働 | 私たち会員は共に仲良く働きます |
| 共助 | 私たち会員は互いに助け合います |

謹賀新年

年頭のあいさつ	理事長…………… 2
	久喜市市長… 3
部会・委員会活動紹介……………	4～5
お客様訪問・会員の声……………	6
フレイル予防教室……………	7
令和元年上半期実績……………	7
センターからのお知らせ……………	8
会員情報コーナー……………	8
編集後記……………	8

書「謹賀新年」：三上 久仁樹さん
表紙の写真：大槻 博道さん

年頭のあいさつ



理事長
齋藤 忠雄

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはご家族おそろいで、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。皆様をはじめ、市民、市内事業所、市の関連部所の皆様におかれましては、久喜市シルバー人材センターの運営に多大なるご理解とご協力を頂いておりますことに厚く御礼申し上げます。

昨年は台風19号の襲来と未曾有の豪雨により関東地方でも大きな被害が発生し自然災害の怖さを痛感しました。被災なされた方々に心よりお悔やみを申し上げます。今年度は東京オリンピック・パラリンピックの年です。先のラグビーワールドカップのように皆様と一緒に楽しみたいと思っています。さて、当センターの業務においては計画の中で進めております会員の増強対策、お客様の拡大、法令を順守した派遣業務の推

進等が順調に推移しています。中でも夫婦会員制度やポイントカード制度、フレイル予防教室、女性限定説明会、女性部会の諸活動等が順調に進展しています。

このような中で、私達は働くことを通じて生きがいと健康づくりを進め、経験と知恵を活かし、より良い地域社会づくりにさらに貢献して参りましょう。そしてこれからも、期待され、信頼される元気な高齢者が活躍する街、久喜市シルバー人材センターを目指しましょう。

これらを達成するためには会員の皆様の仕事が大事にすることです。次に仲間を大切に思いやること。共同作業ではチーム力を発揮できるように力を合わせることに。そして安全な就業を徹底して事故災害を絶対に起こさないことです。

安全を最優先する個人、企業、団体、社会の風土等新しい安全文化が定着しつつあります。安全な作業の徹底を今後も重ねてお願いします。安全パトロールや、安全研修会等も引き続き推進して参ります。一緒に頑張りましょう。

結びに当たりまして会員皆様のご健勝と一層のご活躍で本年が皆様にとって幸多き年となりますよう心より祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

あけまして
おめでとうございます

役員

理事長 齋藤 忠雄
副理事長 田口 英夫
常務理事 保坂 善彦
理事 田口 勝夫
岡野みち子
金子 幸子
石平 勝視

亀田 文江
曾和 健
高橋 三男
内藤 睦央
内藤 洋子
町田 義治
榎本 正則
中島 康夫

事務局職員

事務局長 保坂 善彦
庶務・経理担当 秋山 泰典
小林いづみ
業務担当 荒牧 伸将
小林 明美
新井 友章
三浦 和枝
本宮 洋子
黒須ひかる
佐瀬 剛
勇樹 龍二
お客様担当 友田貴意知

安全担当 友田貴意知



久喜市長
梅田修一

あけましておめでとうございます。

公益社団法人久喜市シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

シルバー人材センターでは、高齢者の就業機会の確保・拡大などへの積極的な取り組みや、安全かつ適正な就業の徹底、ボランティア活動をはじめとするさまざまな社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上、活性化に貢献いただいております、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年は、シルバー人材センターとして初めての試みであるフレイル予防教室サポーター養成講座を開催し、11名の方がその講座の終了後、サポーターとして、10月に開催された予防教室で活躍されたとお伺いしております。

シルバー人材センターの皆様には、高齢者の皆様が、より暮らしやすく、自分らし

く暮らしていけるような試みに、今後も精力的に取り組んで頂きますようお願い申し上げます。

私といたしましては、今後も市民の皆様が「久喜に住んでよかった」と実感いただけるよう、全力で取り組んでまいりますので、久喜市シルバー人材センター会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、公益社団法人久喜市シルバー人材センターの皆様のご健勝と益々のご発展を心からご祈念するとともに、より一層ご活躍いただける1年となりますよう切に願い、新年のごあいさつといたします。



子年にあった出来事・流行語

1936年(昭和11年)

出来事 ●二・二六事件勃発

流行語 ●沢村栄治がノーヒットノーランを達成
◆今からでも遅くない ◆準戦時体制

1948年(昭和23年)

出来事 ●美空ひばりデビュー

流行語 ●プロ野球初のナイター(中日・巨人戦)
◆鉄のカートン ◆てんやわんや

1960年(昭和35年)

出来事 ●カラーテレビの放送開始

流行語 ●ダッコちゃんブーム
◆家つき・カーつき・ババア抜き
◆安保闘争

1972年(昭和47年)

出来事 ●札幌冬季オリンピック開催

流行語 ●上野動物園でパンダ公開
◆お客様は神様です ◆未婚の母

1984年(昭和59年)

出来事 ●東北・上越新幹線開業

流行語 ●日本初の衛星放送始まる
◆くれない族 ◆まる金・まるじ

1996年(平成8年)

出来事 ●スターバックス1号店が銀座にオープン

流行語 ●インターネット拡大
◆メークドラマ ◆アムラー

2008年(平成20年)

出来事 ●北島康介が2大会連続で金メダル二冠

流行語 ●ノーベル賞に日本人4名受賞
◆アラフォー ◆ゲリラ豪雨

部会・委員会 活動の紹介

センターの組織は、個々の会員の意識を事業運営に反映させ、会員の自主的活動や参加意識を促すためにつくられています。そして、理事会の理事などの役員は会員の中から選ばれています。また、センター事業の円滑な運営や事業の具体的推進を図るため、4つの部会と1つの委員会を設置しています。

今回は、部会と委員会のメンバーそれぞれの事務分掌についてご紹介します。

総務財政部会

部会長：田口 英夫
副部会長：高橋 三男
部会員：衣川 湘司、関本 光男、添田 晋六
池田 征二、藤田 賢、齋藤 忠雄

- ① 総務、財政及び組織に関すること
- ② 会員数を増加するための施策に関すること
- ③ 地域班活動に関すること
- ④ 地区懇談会の企画運営に関すること



地区懇談会



事業部会

部会長：町田 義治
副部会長：内藤 睦央
部会員：中沖 幾江、岩崎 秀男、田口 英夫
内田 忠利

- ① 会員への仕事の提供に関すること
- ② 会員の就業上の問題に関すること
- ③ 就業機会の開拓に関すること
- ④ 独自事業に関すること



独自事業
(リサイクル自転車販売)

シルバー農園





普及啓発活動
(市民まつり参加)

普及啓発部会

部会長：杉山 佳佑
副部長：亀田 文江
部会員：原田美智子、内藤 睦央、遠藤 明
西條 勤、佐藤 敏明、松本 良隆



ボランティア活動
(落ち葉清掃)

- ① センターの普及啓発に関すること
- ② ボランティア活動に関すること
- ③ 「シルバー久喜」「よろこび」の編集発行に関すること
- ④ 情報の収集に関すること



シニアビューティー
メイク講座

女性部会

部会長：金子 幸子
副部長：岡野みち子
部会員：亀田 文江、岡野 瑞恵、内藤 洋子
植原登美子、瀬田 和子、西谷 美春



料理教室

- ① 女性会員のネットワークに関すること
- ② 女性会員数を増加するための調査・研修に関すること
- ③ 講習会等の企画運営に関すること
- ④ 女性が活躍できる就業に関すること



安全パトロール

安全・適正就業委員会

委員長：齋藤 忠雄 副委員長：田口 英夫
委員：曾和 健、佐藤 功、神成 貴彰
高橋 操、内藤 洋子、新井 武雄
照内 清二、青柳 貞雄、石平 勝視
野口 進、西村 茂幸、籠宮 勉



交通安全研修

- ① 会員が健康で安全に働くための実施計画の策定に関すること
- ② 事故の分析と防止対策に関すること
- ③ 安全パトロールの実施に関すること
- ④ 安全研修会等の企画運営に関すること

お客様訪問



3回目になるお客様訪問、今回は、亜細亜工業株式会社久喜事業所様をご紹介します。亜細亜工業(株)様は、久喜菅蒲工業団地の造成当初より工場が置かれ、30年以上の長きにわたりシルバー事業にご協力をいただいております。現在、7名の会員がお世話になっております。

お客様の声

亜細亜工業株式会社久喜事業所

執行役員 久喜事業所長

中本 隆則様

弊社は創業86年の塗料メーカーです。久喜市に生産拠点を置いてからは43年が経ち、長い歴史のちょうど半分を久喜市とともに歩んでまいりました。

現在、塗料や樹脂を生産する久喜事業所内では様々な年代の方が働いていますが、シルバー人材センターの方々には、構内清掃、食堂配膳、作業服の洗濯など生産の下支えとなる場でご活躍いただいております。

その仕事ぶりは微に入り細にわたり丁寧で、場内作業員が気持ちよく仕事ができる雰囲気作りが大きく貢献されています。



また、我々が日々の業務にまけて見落としがちな部分への気付きやご提案も大変ありがたく思っています。
昨今の人手不足の折、生産設備の見直しや改善を進め、ともに元気に、安全に働いていただける機会を広げられるよう努力を続けたいと思います。

会員の声

J/R栗橋駅に音楽を



片岡 春雄
(久喜地区)

平成28年2月、「栗橋駅に下総統一の童謡を電車発車メロデーで流そうの2873名の署名が加須市長に提出された」との新聞記事に釘付けとなった。

♪ささのはさらさら：の曲で有名な下総統一は明治45年3月栗橋尋常高等小学校（現在栗橋小学校）卒業。昭和31年東京藝術大学の音楽学部長を務めた。昭和7年、市内中里で生涯を過ごした「高橋郁」作詞で♪栗橋南小学校校歌を作曲している。同じコンビで、♪泊り舟、♪栗橋草刈り唄、の作品もある。♪久喜中学校歌、♪菅蒲中学校歌は下総統一が作曲している。

久喜市で、幼少だけ祖父「中島撫山」の元で過ごし小説「山月記」で有名な「中島敦」は、

《埼玉県久喜市の偉人》になっている。一方「下総統一」と「高橋郁」の2人は、平成5年発行「栗橋町歴史年表」に活動記録の記述が全くない。平成28年2人の作品が公開されて、初めて郷土久喜の誇れる人物として知られ、久喜市高齢者大学・栗橋文化祭などで作品が披露されている。

栗橋の地域活性化グループ「日光街道栗橋関所・栗橋宿を元気にする会」として、「下総統一を栗橋の街おこし」と「J/R栗橋駅にメロデー」の署名活動に取り組んだ。その結果1070名余の市民の声を平成28年11月、久喜市長に提出した。
平成31年2月の市議会で、久喜市当局は「今後は、この下総統一氏の童謡を含め、各鉄道事業者に対し、発車メロデーの導入を引き続き要望してまいります」と考えております。」と答弁朗報を待っているところです。



久喜市のシルバーとしては、始まったばかりのフレイル予防教室。そこに携わっているのが私たちフレイル予防サポーターです。ところで、「フレイル予防サポーターって何？」という声が聞こえてきそうなので、少し説明させていただきます。「フレイル」とは「虚弱」を意味します。私たちの身体は加齢に伴って各機能に様々な変化が起こります。そこで、それらがより遅くなるように生活習慣の改善

フレイルサポーター

佐藤 敏明

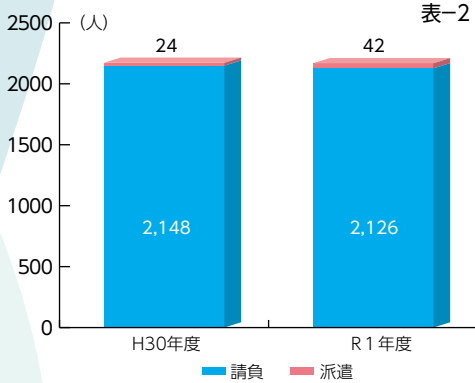


フレイル予防教室 スタート!!

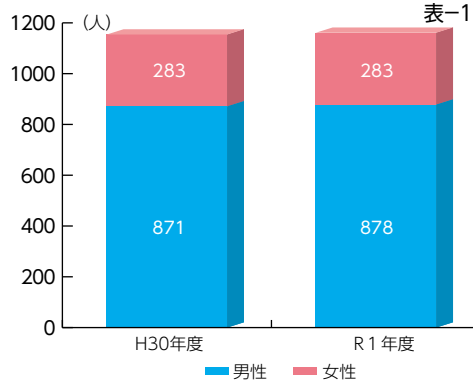


を図るためのお手伝いをしているというものが、このフレイル予防サポーターの活動内容です。現在は18名のサポーターで活動しています。人様の前で話したり模範を示したりするということとは、なかなか大変なことではありますが、サポーター全員が自分も楽しみながら、一回一回の教室に一生懸命に取り組んでいます。やがて、この活動が大きな輪に広がって、多くの方が「人生100年時代」を大いに楽しみながら、元気に過ごしていただくために私達ももっと力をつけて活動に励んでいきたいと思っています。

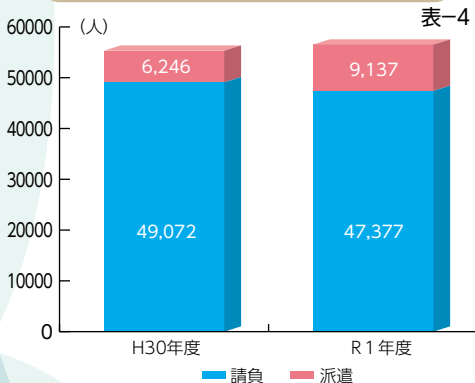
受注件数前年度対比(4月~9月)



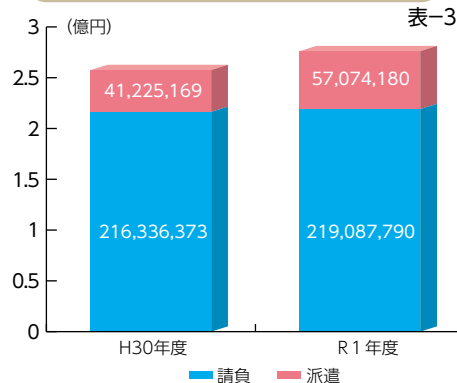
会員前年度対比(4月~9月)



就業延人員前年度対比(4月~9月)



契約金額前年対比(4月~9月)



令和元年度上半期実績
令和元年度上半期の会員数(表-1)は、前年同期比で7名増の1161名となりました。事業実績(表-2)では、受注件数が前年同期より4件減

少したものの、契約金額(表-3)では請負も派遣も伸びており、前年同期比1860万428円の増加となり、就業延人員(表-4)も前年同期比で1196人増し、事業は順調に推移しております。



センターから
のお知らせ

確定申告について

令和元年中に、配分金の支払いを受けた方には『配分金支払証明書』をセンターから郵送いたします。(2月中予定) また、派遣就業により、給与支払いのあった会員の方へは『源泉徴収票』が県連合から郵送されますので、それぞれ確定申告にご利用ください。

紹介してください

当センターにご入会していただける方をご紹介ください。久喜市内にお住いの60歳以上の方であれば、お友達、ご近所、奥様、旦那様など、どなたでも結構です。ご夫婦で入会されると、会費の優遇制度を受けることもできます。是非ともご紹介いただき、シルバーの輪を広げましょう! ご紹介いただいた会員の方には、16ポイントを付与します。



会員情報
コーナー

久喜親和会活動報告

親和会ではグラウンドゴルフクラブ、のびのび毛筆クラブ、将棋クラブ、いきいきカラオケクラブの4つのクラブが活動中ですが、今回は将棋クラブの紹介をします。

将棋の魅力について

親和会 将棋クラブ会長
酒井 美明

将棋は勝ち負けを超えて、誰でも楽しめるゲームだと思います。私も久喜親和会だよりのクラブ紹介で同クラブがあるのを知り、入会して早六年になります。

クラブの活動は、東公民館で行っています。当初は月二回でしたが、将棋が楽しくなり三回になりました。誰でも「どうすれば強くなり相手をやっつけるか」を思っているのだと思います。「毎日二・三問でいいので詰

め将棋を解く」といいこの事だそうです。

又、上達の近道は「得意な戦法」を持つことだそうです(将棋の本から抜粋)

会員の間にも、それぞれの戦法をもち楽しく差指しています。

年に一回は大会も実施しています。会員も徐々にですが増えています。まだまだです。

久喜市内の方でしたら「オツケー」です。入会を待っています。楽しいですよ!

編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、常日頃からセンター事業にご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。

令和、最初の「シルバー久喜」第十号をお届けいたします。

本誌は昨年九月に新しく発行の「よろこび」と合わせて、会員の皆様に親しまれる内容へと進めて参りました。

会員の声や部会の活動また久喜親和会の活動など興味ある内容となっております。

今年も安全第一を最優先に健康に留意し移ろいゆく時代の波に埋没することなく頑張ります。

部会員 西條 勤

「シルバー久喜」第十号
編集 普及啓発部会

- | | |
|-------|-------|
| 杉山 佳佑 | 亀田 文江 |
| 遠藤 明 | 西條 勤 |
| 佐藤 敏明 | 内藤 睦央 |
| 原田美智子 | 松本 良隆 |



読みやすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザイン書体を
採用しています。



植物油インキを
使用しています。

